

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県松戸市  
 本事業の担当部局名 子ども部 子ども未来応援課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名	松戸市高校生と乳幼児のふれあい体験事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成23年度
総事業費(A)(円)	843,320		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	843,320
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	843,320						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	111,000	12,320
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	111,000	12,320
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	720,000	0	0	0		843,320
	対象経費支出予定額	720,000	0	0	0		843,320
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt;※全事業共通          松戸市は、平成30年から令和6年までの間に、出生数、婚姻数、婚姻率全てにおいて減少傾向にある。背景として、未婚化の進展が大きな要因であり、若年層が「結婚に向けて何をしたらいいかわからない」「出産・子育てがしにくい社会」だと感じていることが課題だと考えられる。          そこで、松戸市の強みである「都心に近く、結婚して子どもを産み・育てながら就業もしやすいまち」や、20代の転入超過といった高いポテンシャルを生かし、若い世代に積極的に働きかける各種施策を講じることで、婚姻数・出生数の増加につなげる必要がある。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;          本事業は思春期の高校生を対象として、乳幼児とその保護者と直接ふれあう体験を行うことにより、命の大切さや、子育ての楽しさ・大変さを知ったうえで、子どもや家庭を持つことについて考えるきっかけづくりと、将来的な虐待予防を狙いとして地域の少子化対策に資する事業である。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	生徒と乳幼児親子のふれあい体験の実施	<p>松戸市内の高校(4校)と連携し、おおむね生後5ヵ月(首がすわってから)から1才半までの乳幼児親子が学校に訪問し、高校生とふれあう体験を行う。          主な体験内容としては、赤ちゃんとのふれあいの他、母子健康手帳やエコー写真などをみながら、保護者から妊娠中や子どもの様子、子育ての楽しさ、大変さを聞く。          体験は柔道場や特別教室などで行い、1グループ約5～6名の生徒に1～4組の親子、コーディネーターとしてスタッフが入り、双方に充実した体験ができるようなサポートをする。          【開催概要(予定)】          ・市内高校4校、13回開催を予定。          ・高校生250名の参加を予定。</p>				
2	支援者向け研修会の実施	<p>高校生と乳幼児のふれあい体験事業を推進するため、本市の子ども子育て支援関係者等を対象に研修会を実施する。研修会の実施に際して、他の研修会とあわせて開催することや、オンライン・書面での実施を検討する。          また、研修会の内容としては以下を予定している。          (1)事業目的を説明する。          (2)事業内容の紹介を行い、子ども子育て支援関係者等に事例を共有する。          【開催概要(予定)】          ・1回の開催を予定。          ・支援者45名の参加を予定。</p>					

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

体験参加生徒のアンケート結果から体験の高い満足度、事業効果が伺えるが、各アンケートの項目の4段階指標のうちもっとも高い指標(例:「子育てのイメージを持つことができたか」の調査項目における「できた」)を回答した生徒の割合が少ないことが判明した。子育てのイメージを持つことができた生徒の割合が最も低いため、実施学校と協議の上、体験中の質問内容や当日の運営方法を見直し、体験をととして子育てのイメージを持てるような取り組みの実施を検討する。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻率		%	5.5% (R11年)	4.5% (令和6年)
	合計特殊出生率		%	1.78% (R11年)	1.02% (R6年)
	出生数		人	5,000人 (R11年)	2,911人 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.02% (令和6年)	
	婚姻件数		件	2,155件 (R6年)	
	婚姻率			4.5% (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ふれあい体験参加生徒数	人	250(令和8年)	130(令和7年)
	②	募集校数に対する実施校数	校	4(令和8年)	4(令和7年)
	③	支援者向け研修参加者数	人	45(令和8年)	38(令和7年)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	95(令和8年)	93(令和7年)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	体験後、乳幼児にとっても親しみを感じた生徒の割合	%	70(令和8年)	63(令和7年)
	⑤	体験後、子育てのイメージを持つことができた生徒の割合	%	70(令和8年)	62(令和7年)
	⑥	ふれあい体験の目的を理解した支援者の割合	%	100(令和8年)	92(令和7年)
⑦					
⑧					

(参考) 積算内訳書

1. 自治体名	千葉県松戸市	
2. 個票番号・個別事業名	①	松戸市高校生と乳幼児のふれあい体験事業

3. 本個別事業の寄付金その他の収入及びその内訳

No	収入区分	収入区分毎の内訳	寄付金その他の収入予定額 (円)
1			
2			
3			
4			
5			
		計	0

4. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費 (円)	対象経費支出予定額	
				対象経費支出予定額	対象外経費支出予定額
1	需用費	事業用消耗品代=111,000円	111,000	111,000	
2	役務費	エプロンクリーニング代 400円*7枚*4校*1.10=12,320円	12,320	12,320	
3	委託料	一時預かり兼体験実習見守りスタッフ委託料 時給1,800円*3.5時間*4法人*2人*13日=655,200円 時給1,800円*1.5時間*4法人*2人*3回= 64,800円	720,000	720,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
		計	843,320	843,320	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	0	0	111,000	12,320
対象経費支出予定額	0	0	0	0	111,000	12,320
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0

  

区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計
総事業費	720,000	0	0	0	843,320
対象経費支出予定額	720,000	0	0	0	843,320
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0

(参考) 結婚支援センター及び結婚支援事業者の登録優待費用の内訳

(単位: 円、人)

番号	登録優待方法	1人当たり登録優待額(A)	登録優待予定人数(B)	諸経費(C)	合計(A×B+C)
1					
2					0
3					

※1人当たり登録優待額を複数設定する場合は、それぞれについて記入すること。